

目標①	多様な目的へ対応し、利便性の向上及び目的地までの速達性に配慮した広域交通の確保
-----	---

本地域の広域ネットワークの確保に向け、本計画で位置付けられる交通モードごとに、地域間交通・生活圏交通からの円滑な広域交通への乗り換えのほか、サービス水準の見直しや利用者数に応じた持続可能な交通モードへの転換など、利便性を高める取組を実施、検討します。

施 策 ① JR留萌本線沿線自治体会議における検討・協議結果を踏まえた広域交通の確保

目的等		地域間交通や生活圏交通からの乗継などを考慮し、輸送量向上を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・通学目的の利用が最も多く、買い物や通院などの移動も一定数あることから、各交通モードの利用者数を増加させるなど利用促進に向けた取組を進めます ・各交通モードの維持・確保に向け、協議の実施や効率化を図りながら関係自治体が一体となった検討を進めます ・令和8年3月に予定されているJR留萌本線の廃止までは同様のサービス水準の維持に向けた取組を進めながら、代替交通への移行について検討します 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、JR北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用した情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、計画に位置付ける各路線の持続的な運行に向けた方策を検討します 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌での情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、計画に位置付ける各路線の持続的な運行に向けた方策を検討します 				
	JR北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・JR留萌本線の廃止に伴う代替交通の確保等に係る支援措置を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、代替交通への移行に向けた関係者間による協議に必要な情報や資料等を提供します 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、乗車人員など利用動向に係るデータの提供や関係者からの運行に係る要望の実現性の検証、費用負担のシミュレートなどを実施します 				
スケジュール	取組内容	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組 持続可能な交通モードへの転換					

施策 ② 他公共交通機関と連携したJR函館本線の利用促進

目的等		他公共交通からのシームレスな接続による輸送量向上を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> 旭川・深川方面や滝川・札幌方面を結ぶ広域交通としての位置付けを確保します 利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます 地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、JR北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用促進やJR留萌本線の廃止に伴う代替交通との接続を含めた利便性の向上に向けて、必要な助言を行います バス乗換案内時刻表の作成やホームページでの情報発信を行います (令和4年度実施) 「Hokkaido Love! 6日間周遊パス」の発売 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> 町内の公共交通マップを作成し、ホームページや広報誌での情報発信を行います 運賃助成などの利用促進策を検討・実施します 地域の移動実態を踏まえ、必要に応じて生活圏交通のダイヤの見直しを検討するなど、路線の接続状況の改善を図ります (令和4年度実施) 観光客取込を目的とした駅名案内版を設置 高齢者を対象にJR片道分の交通費を助成 65歳以上の町民にバス利用料金を助成 				
	JR北海道	<ul style="list-style-type: none"> 乗継利便性の向上を目的としたバス事業者への情報提供を行います (令和4年度実施) 「Hokkaido Love! 6日間周遊パス」の発売 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤ変更に伴い、路線の接続を見直す必要がある場合には、事前に取組主体間で情報共有を図り、シームレスな接続を確保します 輸送量向上に向けて、利用実態データに基づいた必要な取組を協議会に提案します (令和4年度実施) ダイヤ改正において、他公共交通との接続状況改善に向けた検証 				
スケジュール	取組内容	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組	バス乗換案内時刻表の検討、作成				
		公共交通マップの検討、作成				
		運賃助成などの利用促進策の検討・実施				
接続状況の改善に向けた検討・協議	検討・協議の実施→必要により改善					

施 策 ③ 他公共交通機関と連携した高速るもい号の利用促進

目的等		高規格道路を活用した広域交通の輸送量向上を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通としての位置付けを確保します ・利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます ・地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します ・地域間交通及び生活圏交通からの円滑な乗継に向け、各町内における乗換拠点の形成の検討を行います 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、J R北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・路線の利用促進や他の公共交通機関からの接続状況の改善に向けて、必要な助言を行います ・バス乗換案内時刻表の作成やホームページでの情報発信を行います 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の公共交通マップを作成し、ホームページや広報誌での情報発信を行います ・運賃助成などの利用促進策を検討・実施します ・地域の移動実態を踏まえ、必要に応じて生活圏交通のダイヤの見直しを検討するなど、路線の接続状況の改善を図ります ・まちづくりと連携が図られた乗換拠点を検討します 〈令和4年度実施〉 <ul style="list-style-type: none"> ・町民を対象とし、自宅からバス停までのタクシー利用料を助成 				
	J R北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継利便性の向上を目的とした情報提供を行います 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送量向上に向けて、利用実態データに基づいた必要な取組を協議会に提案します 〈令和4年度実施〉 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦における事業環境の悪化を踏まえた利用実態の調査・分析及び収支改善に向けた検討 				
スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組	バス乗換案内時刻表の検討、作成				
		公共交通マップの検討、作成				
		運賃助成などの利用促進策の検討・実施				
	接続状況の改善に向けた検討・協議	検討・協議の実施→必要により改善				
乗換拠点の形成に向けた検討・協議	検討・協議の実施→必要により形成					

施 策 ④ 留萌旭川線の運行サービス水準の向上

目的等		現状維持を図るとともに高規格道路を活用した広域交通の維持を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通として位置付け、地域間幹線系統確保維持費補助金を活用し、路線維持を図ります ・利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます ・地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します ・現行の留萌旭川線と同程度のサービス水準の維持を基本としたサービス水準の設定について検討を進めます ・また、高規格道路を活用し、速達性を持たせた広域交通として、利用が多い時間帯など利用実態に即した一部の便のサービス水準の向上を検討します 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、J R北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用した情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、今後の持続的な運行に向けた支援等について検討します 〈令和4年度実施〉 <ul style="list-style-type: none"> ・北空知4町、バス事業者と持続的な運行に向けた検討・協議 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌での情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、今後の持続的な運行に向けた支援等について検討します 				
	J R北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、乗継利便性の向上を目的としたバス事業者への情報提供を行います 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体会議における協議状況を踏まえ、JRの代替交通手段としての機能も考慮し、速達性に考慮した便や利便性を損なわない便数設定などを検討します 				
スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組	ホームページ・広報誌を活用した情報発信				
	持続的な運行に向けた検討・協議	検討・協議の実施				

目標②	利便性の高い生活移動の実現に向け、最適化を図った持続可能な地域間交通の確保
-----	---------------------------------------

地域間交通においても、生活圏の一つである滝川市や深川市などの地域中心都市までの移動手段の確保は重要なものとなっていますが、広域交通と比較して、運行規模は小さく、より生活に直結した移動が中心となっています。

今後も限られた交通資源の中で公共交通サービスの提供を行うために、利用実態に応じて運行規模や他の公共交通との接続性の最適化を図りながら、地域間交通の確保に係る施策を実施、検討します。

施 策 ⑤	利用実態や移動ニーズに即した路線の維持及び最適化
-------	--------------------------

目 的 等	利用実態や住民の移動ニーズを踏まえ、利便性の向上や効率化などの路線最適化による持続可能な地域間交通を目指します	
取 組 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間交通として位置付けられるバス路線について、利用実態を踏まえた路線のあり方を検討します ・利用者数が現況の補助要件を満たしている沼田線と深滝線（雨竜経由）のバス路線については、地域間幹線系統確保維持費補助金を活用しながら現状維持に努めます ・北竜線など利用者数の確保が難しく、現況の補助要件を満たすことが難しいバス路線については、利用実態を踏まえ、効率の良い地域間交通の維持に向けて、起終点や運行区間が近い路線の最適化について検討を進めます ・路線の最適化を実施した際のサービス水準は、既存のサービス水準を基本に設定し、検討を進めます ・利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます ・地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します ・滝川北竜線については、令和4年3月末に廃止となったため、北竜町地域公共交通計画に記載されている代替交通の運行内容に準ずることとします ・持続的な公共交通の運行体制を確保するため、バス運転手確保策について検討し実施します。 	
取 組 主 体 (連携団体・協力団体等)	北海道、北空知4町、バス事業者	
取 組 内 容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・各路線の利用実態に即した交通体系の構築に向けた議論の場の設定や協議・検討について必要な助言を行います ・バス乗換案内時刻表の作成や振興局ホームページでの情報発信を行います ・振興局が実施する合同企業説明会などでの広報活動をはじめとしたバス運転手確保策の検討を事業者と連携して行います
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・各路線の利用実態に即した交通体系の構築に向けた議論の場の設定や協議・検討を行います ・町内の公共交通マップを作成し、ホームページや広報誌での情報発信を行います ・移住希望者などへの広報活動をはじめとしたバス運転手確保策の検討を事業者と連携して行います <p>〈令和4年度実施〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実態に応じて、路線の持続的な運行に向けた検討・協議
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車人員など利用動向に係るデータの提供や関係者からの運行に係る要望の実現性の検証・費用負担のシミュレートなど、必要に応じ、利用実態に即した交通体系の構築に向けた取組を実施します

スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)	
	路線維持に向けた 検討・協議	沼田線・深滝線：検討・協議を実施					
	路線の最適化に向けた 検討・協議	北竜線：検討・協議を実施				検討結果を反映	
	バス運転手 確保の検討・実施	取組の検討	合同企業説明会などでの広報活動の実施				